

NH|GGP

【プレスリリース】

2024 年の東洋水産株式会社定時株主総会で、日本グローバル・グロース・パートナーズの提案が前例のない支持を集める

資本コストの開示を要請する提案が 50%近い支持を受ける

東洋水産の資本配分に関する株主の懸念を明確に示す

東洋水産、17 年ぶりの株式自己取得を発表、これは NHGGP の提案に対する直接的な対応である

ニューヨーク & 東京 – 2024 年 6 月 30 日 – Nihon Global Growth Partners Management Inc. (以下「NHGGP」) は本日、6 月 27 日に開催された東洋水産株式会社 (2875.T) (以下「東洋水産」または「同社」) の 2024 年定時株主総会 (以下「総会」) において心強い結果を得たと強調しました。

特に、NHGGP による資本コスト開示提案が総会で 49%の賛成票を獲得しました。これは日本における株主提案の資本コスト開示に関する提案では過去最高水準の賛成率と NHGGP は考えています。同社株式の 10%以上が持合株式や同社関係者により所有されていることを考慮すると、NHGGP は事実上「非関係者」株主の過半数からの支持を得たと考えています。定款変更決議に必要な非常にハードルの高い 3 分の 2 の賛成率には届きませんでした。50%近い支持は、株主が経営陣に対して資本コスト認識に関する対話や低収益の非中核事業への継続投資や 2,700 億円にもものぼる現金・有価証券保有に対する合理的な説明を要求していることを明確に示しています。

さらに、2024 年 6 月 4 日、東洋水産は 250 億円の自社株式取得を発表しましたが、これは 17 年ぶりの自社株式取得となります。同社発表前に、NHGGP は 200 億円の自社株式取得を株主提案していました。NHGGP は、会社の自己株式取得発表が、単にこの株主提案に対する反応だけでなく、株主還元強化に対する広範な株主の強い賛同の結果であると考えています。

NHGGP の経営陣への株式報酬制度導入提案は、総会で 22%の賛成票を得ました。こちらも同種の提案に対する高水準の賛成率と考えています。

当社の提案にご賛同いただきました株主の皆様、そして国際的な主要な議決権行使助言会社である ISS とグラスルイスを始めとする市場関係者の方々に深く深謝を申し上げます。NHGGP は今後も同社や他の市場参加者との対話を継続していく意向です。

【NHGGP について】

Nihon Global Growth Partners Management Inc. (NHGGP) は、海外市場において力強い成長を遂げている日本企業へ長期投資を行なっています。2018 年の NHGGP 設立以前、NHGGP の経営陣は日本において 2004 年より数多くのプライベートエクイティ投資を行っていました。NHGGP は、2021 年にローンチした NHGGP ジャパン・オポチュニティーズ・ファンド L.P.を含む私募ファンドを運用しています。

NH|GGP

【連絡先】

一般的なお問い合わせ：

info@nhggp.com

日本メディアお問い合わせ：

アシュトンコンサルティング株式会社

P+81 (0)3-5425-7220

nhggp@ashton.jp

海外メディアお問い合わせ：

Longacre Square Partners

nhggp@longacresquare.com